

# 委員会報告

2017～2018年度

No.1

第 1 回

委員会名	オリンピック・パラリンピック支援委員会
委員長名	L 工藤 章

開催日時	2017年 9月 7日 木曜日 9時 30分 ~ 12時 00分					
開催場所	参議院議員会館101会議室					
出席者		細川地区ガバナー		今井第1副地区ガバナー	伊賀第2副地区ガバナー	
	<input type="radio"/>	L 工藤 章 委員長	<input type="radio"/>	L 中島 潔 副委員長	<input type="radio"/>	L 今田好子 副委員長
	欠	L 中井正力 副委員長	<input type="radio"/>	L 原田純子 副委員長	<input type="radio"/>	L 指田 勇 副委員長
	<input type="radio"/>	L 成松光一郎 委員	欠	L 菅野弘一 委員	欠	L 石田哲司 委員
	<input type="radio"/>	L 松本光史 委員	欠	L 阪本真路 委員	<input type="radio"/>	L 赤川緋沙子 委員
	<input type="radio"/>	L 吉原利弘 委員	<input type="radio"/>	L 福壽孝太郎 委員	<input type="radio"/>	L 藤井徳昭 委員
	<input type="radio"/>	L 渡辺和男 委員	欠	L 原田浩太郎 委員	欠	L 小松大祐 委員
	<input type="radio"/>	L 金澤善章 委員	<input type="radio"/>	L 川野義範 委員	欠	L 佐藤一郎 委員
	欠	L 上野滋郎アドバイザー	<input type="radio"/>	L 宮本慶文 アドバイザー		
	<input type="radio"/>	L高橋昌幸 副幹事	<input type="radio"/>	L福井清太 副幹事	<input type="radio"/>	L梶原正和
	<input type="radio"/>	L向井忠義				
	次 第	司会・進行 L 工藤 章				
	1	ガバナー挨拶 (委員長挨拶)				
	2	前回議事録確認				
	3	キャビネット報告(担当副幹事)				
	4	審 議 別紙議題による				
	5	日程確認・調整				
	6	次回開催確認				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	9:30～オリンピック・パラリンピック支援委員会				
	2	10:10～丸川珠代 参議院議員 前東京オリンピック・パラリンピック大臣				
	3	11:00～鈴木俊一 衆議院議員 東京オリンピック・パラリンピック大臣				
	4					
	5					
	6					
次回開催日時	2017年 10月 5日 木曜日 15時 45分 ~ 17時 00分					
場所	キャビネット事務局					
	作成者			L赤川緋沙子		

議 題	審議経過事項の概要
	9:30 参議院議員会館の会議室をお借りして第一回330-A地区
	オリンピック・パラリンピック支援委員会会議を行いました。
	(工藤委員長よりパラリンピックのメダリストへの報奨金、新国立競技場に時計台の贈呈
	パラリンピック選手の支援等の説明がありました)
	10:10 会議後、前東京オリンピック・パラリンピック担当大臣丸川珠代氏と面談。
	丸川珠代氏より
	ライオンズクラブが何処よりも早く支援の申し出をしてくださいましたことに大変
	感謝申し上げます。ひとりひとりと握手と写真撮影をいたしました。
	11:00 その後内閣府へ移動して現在の東京オリンピック・パラリンピック担当鈴木俊一大臣を
	訪問いたしました。大臣室には、水落敏栄副大臣、藤江陽子審議官、田中聡明障害者スポー
	ツ振興室長等、同席いただきました。
	ここでも前大臣の丸川珠代氏からの何処よりも早く支援の申し出をしてくださいましたこと
	鈴木俊一大臣に説明していただきました。工藤委員長から330-A地区オリンピック
	パラリンピック支援委員会からの具体的な支援策として2020パラリンピックのメダリスト全員に
	報奨金100万円を授与すること、また新国立競技場に時計台を寄贈すること、東京パラリン
	ピック出場を目指している選手への支援等を説明いたしました。
	鈴木俊一大臣より
	”2020年東京オリンピック・パラリンピック成功させる為”ご支援いただき御礼申し上げます。
	競技場などの整備を進めておりますがハード面ばかりでは無くソフト面の強化、特に
	パラリンピック競技を成功させるためには競技者を受け入れるにあたり環境整備はもとより
	障害者を受け入れ支援する心、心のバリアフリーが必要であり、自然に助け合う精神を
	身につけが必要です。延いては高齢者社会において身体機能の衰えをみんなで支え
	る習慣を身につけることに繋がっていく、ことと考えられます。パラリンピック競技は
	8月25日～9月5日ごろを予定しております。競技を運営することも障害者を受け入れ支援
	する心を養う上で必要です。夏休みも終了する時期ですが教育の一つとして見学する機会を
	設ける。修学旅行を早めるなどを検討していきたい。チケットの販売等についてはご協力
	戴きたいとお話がありました。
	鈴木大臣より時計台は一番目立つ所に設置しますとお話がありました。
	工藤委員長より上記3項目以外に全国の障害を持った子供達を2020東京パラリンピックに
	招待することも計画しておりますと申し出がありました。
	鈴木大臣よりライオンズクラブの皆様にご挨拶と感謝しておりますと話され、その後、ライオンズクラブ
	のメンバーと写真撮影。
	以上